

# にけーしよん

## 6/23 できた、石のカタツムリ!

僧都小学校が、造形の楽しさを体験しようと「造形の日」に、プロの彫刻家、藤部吉人さんを講師に招き「彫刻教室」を行いました。当日は、大理石にカタツムリやカメなどを描いた後、ノミやかなづちで石を削っていました。後日、行われた句会ライブで、6年生の本多駿吾くんが「岩石に命吹き込むねむの花」という俳句を作りました。楽しそうに石を削る様子が伝わってきます。児童たちにとっては、物づくりの楽しさを学ぶ教室となったようです。



児童を指導する藤部さん



## 7/12 がんばれ、一中音楽部!

一本松中学校敷地内にある野外ステージで、同校音楽部による「夕暮れコンサート2008」が行われ、地区住民や南宇和高校吹奏楽部員など約200名が訪れました。当日は、「元禄」(今年度の全日本吹奏楽コンクール演奏曲)のほか、10数曲の演奏、即興漫才も披露され、訪れた観客も、清々しい部員の表情や明るい声、山里に響く管楽器の音色に、心地よい夏の夜の一時を過ごしました。私も、中学校と高校の連携、つながりの素晴らしさを感じる取材となりました。

## 心温まる「わんこ」の話

長岡雄一さんは、昨年春、船越港をうろつく子犬(生後3カ月くらい)だった「チビ」を見かねて飼うことになったそうですが、共働きのため「チビ」を家に残さなければなりません。そこで、近所で自営業をする砂田正さんが、朝7時半から夜の9時頃までの半日、里親を快く引受けています。長岡さんは帰宅すると「チビ」の様子を伺い、翌朝4時の散歩を楽しみ就寝。「チビ」は、二家族の愛犬として心のスイッチをうまく切替え、近所の人たちにも愛嬌を振りまく幸せな「わんこ」です。



砂田正さん

長岡雄一さん

(文・写真、濱本秀雄編集委員)

# 愛南こみゆ



## 6/14 笑って元気になろう!

御荘文化センターで、南宇和障害者の社会参加を進める会(会長は谷口町長、事務局は地域活動支援センターいろり)による「爆笑!若葉寄席'08」が行われ、約300名が笑いを求め訪れました。当日は、らくさぶろうさんの軽妙な司会の中、落語家の桂雀三郎、古今亭菊志ん、林家染太、柳家花ん謝、桂三幸(以上、落語家)、すず風にゃん子・金魚(女性漫才)が、次々と登場し、場内を笑いの渦に引込んでいました。

## 7/1 松山に新拠点「みしょうMIC新鮮市まつちか店」!

松山市の「まつちかTOWN」で、(有)愛南総研(代表取締役、尾崎勝也)や谷口町長、来賓として、中村時広松山市長と佐伯要伊予鉄道株式会社社長が出席して、みしょうMIC新鮮市まつちか店のオープニングセレモニーが行われました。その中で、愛南総研の永元義秋取締役が「自信を持って、愛南町の新鮮で安全な産品を届けたい。そして、将来は、松山市の生産者との交流を深め、新たな産品開発をしたい」とあいさつ。また、谷口町長が「地場産業の振興を進める愛南町にとっても、今日のオープニングをととても嬉しく思います。今後は、松山市民の皆さんに愛され、更に発展することを願っています」と激励のあいさつを行いました。店内には、野菜や魚介類等、約500種類以上の品々が並んでいますが、オープニングを祝い、来店者には愛南ゴールドがプレゼントされていました。営業時間は、午前10時から午後8時までで、毎月第3水曜日が定休日になります。



南高生が作ったトマトも販売しています。(エコえひめ特別栽培農生物)